

報道関係各位
Press Release



2026年2月7日
コグニティ株式会社

【速報】衆院選2026、非生成AIによる自民党×中道の話し方調査結果 ——“短文・凝縮”vs“丁寧・呼びかけ”が鮮明に

一文平均41.5字の自民党は「短く区切って情報を畳み掛け」、中道は問いかけが多くYes/No型が中心

知識表現AIを用い、会話・文章情報から組織課題を可視化するコグニティ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：河野理愛、以下「コグニティ」）は、独自の特許技術CogStructureを用いて、2026年衆議院選に向けて公開された動画（記者会見・街頭演説等）を対象に、自由民主党と中道改革連盟の話し方・構造の違いを定量比較しました。

本速報は、政党の主張の正しさを評価するものではなく、有権者が投票判断の材料を点検するための「読み方」を提示することを目的としています。



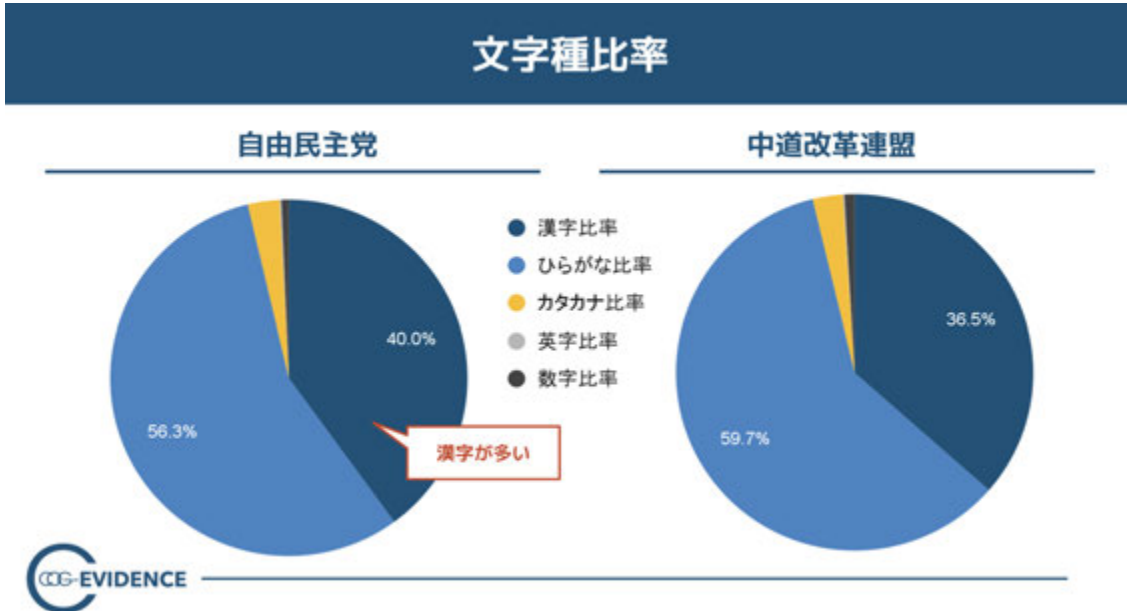
今回比較対象としたデータは計4件、総量191分です。最長は中道改革連盟の政策発表記者会見（1:39:52）、最短は自民党の公約発表記者会見（0:26:37）でした。今回の差分は、単なる「話量」ではなく、区切り方（短文/長文）・問いかけの設計（確認型）・ロジック構成・ストーリー展開に強く表れました。

なお本件は「政論解体新書」シリーズの第3弾（比較速報）です。これまでに2月3日：各党マニフェスト動画の論点分析（調査発表）、2月5日：政見放送のロジック構造・情報量分析（速報）を公開しており、今回は動画としての解説から発信を始め、note記事などへ展開します。また、今晚、最終回として「投票日前」最終分析を公開予定です。

解説動画：<https://youtu.be/h8IMRaendLU>

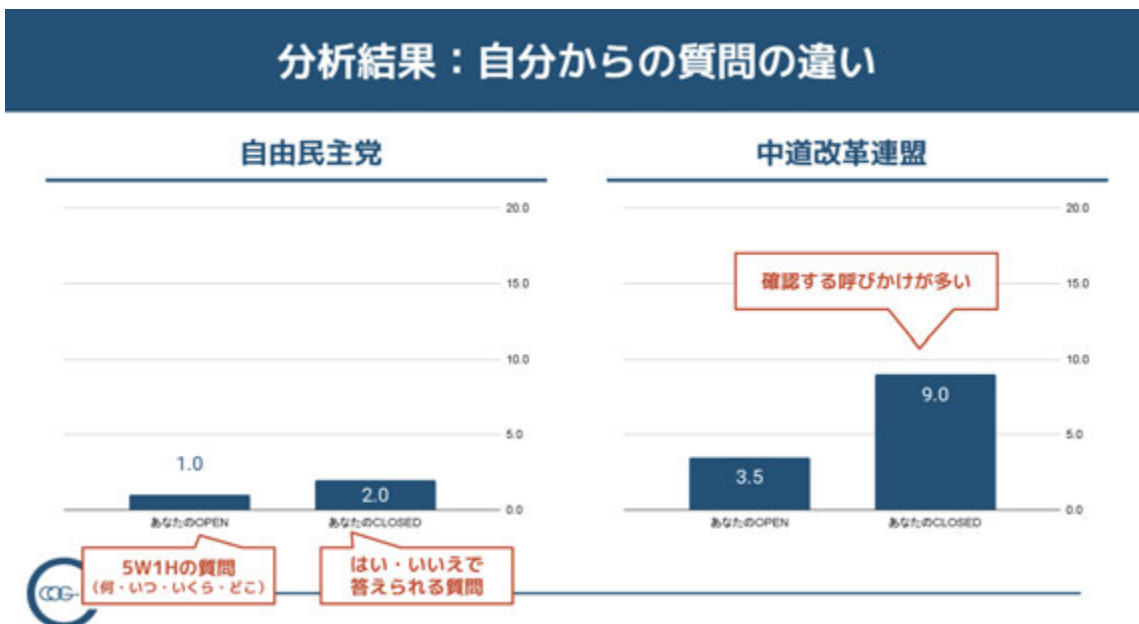
■ 速報結果① | 一文の長さ：自民は短く区切って“凝縮”、中道は長めに“説明”

「一文あたりの平均文字数（＝区切りの長さ）」で見ると、自民は41.5字、中道は51.3字となり、自民は短く区切りながら情報を置いていく“短文・凝縮”型、中道は語り出すと一定の長さで説明する“丁寧”型の傾向が確認されました。また文字種比率では、自民の漢字割合が高い傾向が示されました。用語の使い方の面でも、自民は凝縮形と言えます。



■ 速報結果② | 呼びかけ（問いかけ）：中道は“確認質問（Yes/No）”が増えやすい

呼びかけ（質問として検出された数）は中道で圧倒的に多い結果となりました。特に演説では、確認質問＝クローズド（Yes/Noで答えられる）が多くなる点が特徴として説明されています。呼びかけに続く「自問自答」（こうだからですよ、等）について、質問文・回答文の長さで見ると中道が若干長い傾向が示されました。つまり、長めの質問を投げ、回答も長めに返す／自問自答も長めという“丁寧・呼びかけ”型の運びが確認されています。



■ 特集ページの案内

本分析結果を踏まえ、コグニティでは有権者向けに各党のマニフェスト動画・政見放送・街頭演説の論点・特徴を一覧化・分析レポートを掲載した特集ページ、及びnoteにおける有料記事を公開しています。

特集ページ名：2026年衆院選・政論解体新書

URL：<https://cognitee.com/2026vote>

内容：選挙当日まで、各党から公開された情報をもとに、傾向や注意点について分析して共有します。

<過去の更新>

【一の巻】各党マニフェストの分析から「偏り」を把握！投票判断のための「論点・特徴一覧」を公開

【二の巻】政見放送の「具体策」言及が昨年比大幅減、非生成AIでロジック構造を解析し“呼びかけ偏重”を可視化

■ 分析対象・データ | NHK政見放送+昨年比較、支持率・情勢も参照

・対象： 2026年2月8日投票日の衆院選に向けた2党のマニフェスト動画・街頭演説

【分析対象の政見放送動画】

自由民主党 マニフェスト動画	https://youtu.be/4it7uQd_zT4?si=YL84Dr7fMdy2a9cl
自由民主党 街頭演説動画	https://www.youtube.com/watch?v=p4OF8iBwKCK
中道改革連盟 マニフェスト動画	https://www.youtube.com/live/JCrvJCilveY?si=8eRI25pFzSJiKKcb
中道改革連盟 街頭演説動画	https://youtu.be/rD_-cgvwkLY?si=-FYBkmMUtCbHou4

なお、今回の分析対象の文字化については、YouTube付属の「文字起こし表示」をそのまま利用しています。そのため、YouTube自体の誤変換はそのまま利用していることでの、分析上の誤認識を含む可能性があります。

■ 分析概要 | 非生成AI（知識表現AI）で「作らずに測る」

コグニティのCogStructureは、第一次・第二次AIブームで発展した知識表現（Knowledge Representation）やオントロジー等のアプローチをベースに、人の認識パターン特定に特化した技術です。ChatGPT等の生成AIが文章を「作る」ことを得意とするのに対し、CogStructureは、発話・文章を比較可能な指標（モノサシ）に落とし込むことに重きを置いています。

本分析では、政見放送の発話を要約・生成するのではなく、話題（論点）とその情報量・構造を抽出し、各党の特徴を定量的に比較できる形に整理しました。

■ トライアルのご案内：Baseline Review機能

コグニティは、会話・文章などの定性データを、独自の構造化技術により「改善に使える指標」と「行動に落ちる示唆」に変換する分析サービスを提供しています。商談・会議・社内共有・研修・顧客対応・IRなど、目的に応じてコミュニケーションの“伝わり方”と“成果につながる要因”を可視化し、改善の優先順位と打ち手を提示します。

その入口として、短期間で現状の課題と改善の方向性を把握できる「Baseline Review（お試し）」を5万円（税別）で1月27日にリリースいたしました。個人・組織の力量を確かめるため、パフォーマンスが良いトーク/悪いトークの違い（構成・論点の置き方・説得の流れ等）や最終版の再レビュー（Before/After比較）として、録画・音声・書類等を2本ご提出いただくことで、分析結果とブリーフィング1時間でフィードバックします。（個人利用の場合は、ブリーフィングに代わりメールもしくはオンラインセミナーにて実施）



**組織判断は、
感覚で決めない。**

Baseline Review提供開始
2件までの個別検定+意思決定ブリーフィング

月30社^{限定}
初回5万円^(税別)

会議・商談・1on1・チャット・報告書
組織のリアルを定量化、要因抽出から成果検証まで。

申込ページ：<https://cognitee.com/baseline-review-cog-evidence>

【コグニティ株式会社 会社概要】

- 社名：コグニティ株式会社
- パーパス：技術の力で、思考バイアスなき社会を。
- 事業内容：定性情報の定量化技術を使った組織分析サービス
- 本社：〒140-0015 東京都品川区西大井一丁目1番2-208号
- 設立：2013年3月28日
- Web：<https://cognitee.com/>
- 資本金：6億円（準備金含む）
- 従業員：71名（リモートワーカー含む）
- 代表者：代表取締役 河野 理愛
- 受賞歴他：
 - EY Innovative Startup エンタープライズ部門受賞(2019)
 - 第11回 HRアワード 人材開発・育成部門 最優秀賞(2022)
 - 第22回 一般社団法人日本テレワーク協会 テレワーク推進賞 優秀賞受賞(2022)
 - 第3回TOKYOテレワークアワード 推進賞(2023)
 - 一般社団法人生成AI活用普及協会協議員(2023～)

本件に関するお問合せ
コグニティ株式会社 広報担当：奥井
Email: okuinagisa@cognitee.com TEL: 03-4212-8445